

日本におけるセゾン・フランセーズのコミッショナーに ディアンヌ・ジョス氏が任命されました

7月25日、フランスの外務省と文化省は、2021年上半期に日本で開催されるセゾン・フランセーズのコミッショナーにディアンヌ・ジョス氏が任命されたと発表しました。ジョス氏は2012年から2016年まで在日フランス大使館文化部／アンスティチュ・フランセ日本の文化担当を務め、その後は韓国においても同じ職務に就いていました。



ジョス氏は過去、バンコク（タイ）、アトランタ（米国）、ベルリン（ドイツ）でも文化担当官を、また、2008年から2012年までは仏外務省のアジア視覚芸術担当を務めていました。両省は「アジア世界とりわけ日本に造詣が深く、且つフランスの文化シーンを熟知しているジョス氏は、日本において意欲的で革新的なフランス文化プログラムを企画するのに必要な能力を持ち合わせている」と述べました。

ジョス氏は文化、オーディオヴィジュアル、大学交流の分野において数多くのプロジェクト、アーティスト、フランスや外国のパートナーに関わり、赴任した国々と連携して数多くの現代アート展や大規模なイベントを手掛けてきました。とりわけポンピドゥー・センター・メッセで開催された展覧会「ジャパノラマ」の準備に積極的に関わった他、2016年には韓国におけるフランス年の開催に関わり、最近では光州ビエンナーレのパレ・ドゥ・トーキョー館とのパートナーシップをリードしました。また、タイのアートシーンのメインイベントの一つである多分野フェスティバル「ラ・フェット」の立ち上げにも関わりました。

セゾン・フランセーズは、2018年にフランスで開催されたジャポニスム 2018 に呼応して開催されます。その主な目的として日本におけるフランスのイメージの刷新と若い世代を取り込むことを掲げています。



vivre
les
cultures

略歴

1970年3月18日生まれ。

1998/1-3 ル・フレノワ国立現代アートスタジオ。

1995/12-1998/8 アンスティチュ・フランセ（旧 AFAA）。ヴィジュアルアート、写真、デザイン担当。

1998/9-2000/9 アンスティチュ・フランセ・ベルリン。文化担当官。

2000/9-2004/9 在タイフランス大使館。文化担当官。

2004/9-2008/9 在アトランタフランス総領事館。文化担当官。

2008/9-2012/9 仏外務省グローバリゼーション総局。ヴィジュアルアート/アジア担当。

2012/9-2016/8 フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本。文化担当官。

2016/9-2019/7 フランス大使館/アンスティチュ・フランセ韓国。文化担当官。

2019/秋～ アンスティチュ・フランセ。日本におけるセゾン・フランセーズ コミッショナー。

プレスお問合せ：津田 桜

電話：03-5798-6008（直） Eメール：sakura.tsuda@institutfrancais.jp

www.institutfrancais.jp